

2015年3月期 第2四半期 決算説明補足資料

エンカレッジ・テクノロジー株式会社
(証券コード：3682)
2014年11月5日

目次

1.2015年3月期 第2四半期（累計）決算概要

2.2015年3月期 業績予想

3. 2015年3月期 下半期 重点施策について

4.参考資料

目次

1.2015年3月期 第2四半期（累計）決算概要

2.2015年3月期 業績予想

3.当社の成長戦略

4.参考資料

2015年3月期 第2四半期（累計）決算概要

当四半期の業績と前年同四半期比較

（単位：百万円）

	2014年3月期 第2四半期累計	2015年3月期 第2四半期累計		
		実績	増減額	増減率
売上高	595	602	+6	+1.1%
売上総利益	444	448	+4	+0.9%
販管費	247	276	+28	+11.1%
営業利益	196	172	△24	△12.4%
経常利益	198	172	△25	△13.0%
当期純利益	125	118	△7	△5.9%

- ・売上は投資抑制、予算執行の様子見などの遅延案件により微増に留まる
- ・人員増による固定費・研究開発費、総会費用などの販管費が増加

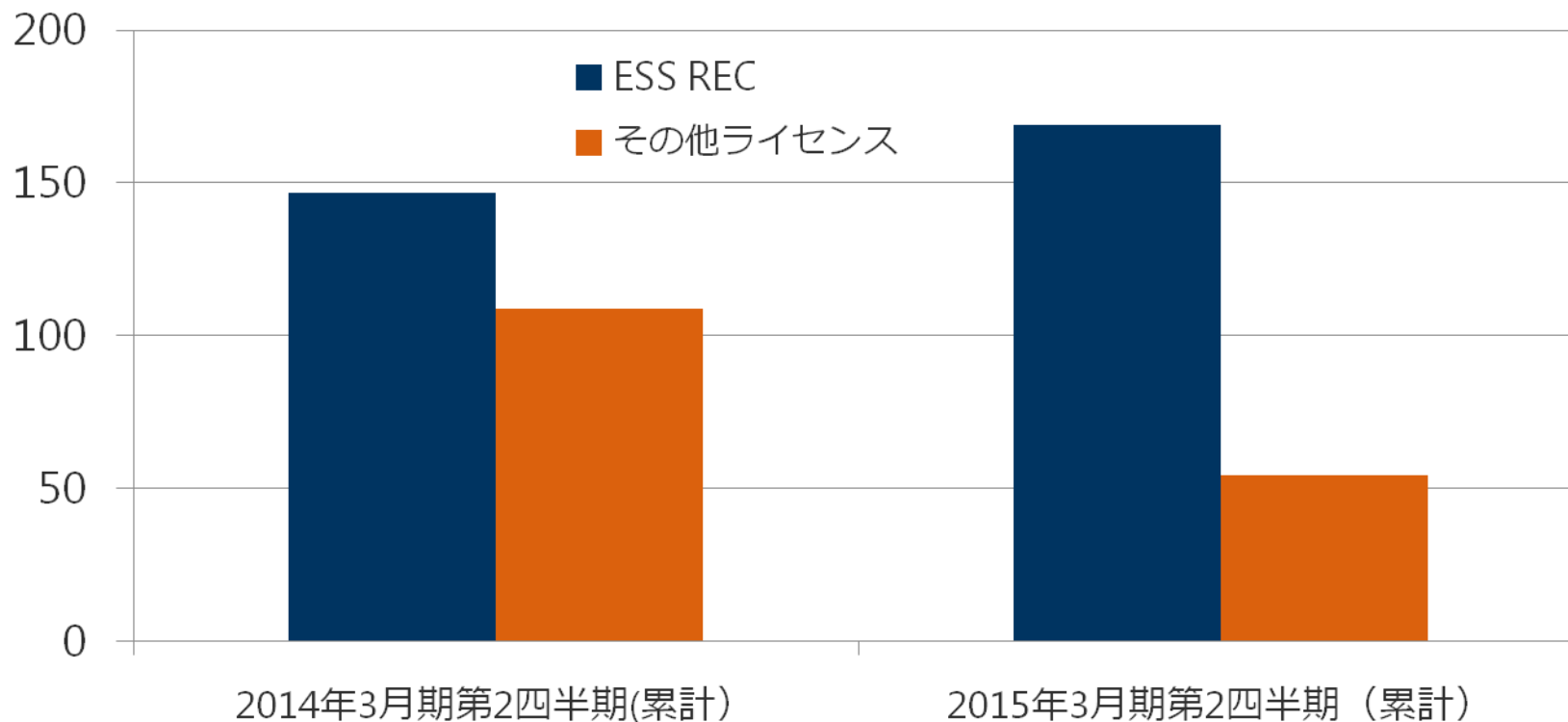
売上構成の推移

(単位：百万円)

構成項目	モデル	2014年3月期 第2四半期 累計	2015年3月期 第2四半期 累計	対前期比 増減率
ライセンス	フロー型	255	223	△12.6%
保守サービス	ストック型	245	276	+12.3%
コンサルティング	フロー型	40	38	△5.5%
常駐サービス	ストック型	35	32	△8.3%
その他		17	31	+77.1%
売上高合計		595	602	+1.1%

ライセンス売上 対前期比較

(単位：百万円)



- ライセンス売上は対前期比△12.6%
- ESS RECは引き続き堅調な売上の伸び (対前期比+15.1%)
- その他ライセンスはクロスセルで見込んでいたSIO製品 (ESS AdminControl) 商談の複数案件で慎重な投資判断があり遅延が発生

第2四半期(累計) 重点施策の進捗状況

■ 新たな技術開発による競争力強化

クラウドシステムの2015年1月リリースに向けて順調に進捗

■ クラウドサービス事業 (SIO SaaS) の確立

DC (クラウド) 事業者2社との業務提携契約を締結

■ ソフトウェアパッケージ事業の拡大

代理店との協業強化

：富士通エフサス社と協業を開始

ESS RECによる中堅金融機関の新規開拓

：信金2庫、銀行2行、クレジット2社、生損保2社に新規導入

既存顧客へのSIO製品クロスセル

：教育産業での事件を受けて対策の大規模化などの影響や
慎重な投資判断があり複数案件で遅延が発生

貸借対照表

(単位：百万円)

	2014年3月期 期末実績	2015年3月期 第2四半期 期末実績	対前期比 増減率	主な増減要因
流動資産 (うち現金および預金)	2,048 (1,889)	2,251 (2,078)	+10.0%	現預金 189 売掛金 10
固定資産	307	191	△37.8%	長期預金 △100 ソフトウェア △18
資産合計	2,355	2,442	+3.6%	
流動負債	376	394	+4.6%	未払法人税等 △41 前受金 51
固定負債	25	25	+0.1%	
純資産	1,953	2,022	+3.5%	当期純利益 118 剰余金の配当 △49
負債・純資産合計	2,355	2,442	+3.6%	

2015年3月期 第2四半期(累計期間)トピックス

6月4-5日

- ・ しんきんコミュニケーションフェア2014 出展

教育産業におけるシステム管理者の大規模な情報漏えい事件

7月15日

- ・ システムリスク対策セミナー 出展 (FIT東京フォーラム)

8月~9月

- ・ システム管理者のセキュリティ対策セミナー(自社開催)

9月1日

- ・ 富士通エフサスとの協業を発表

6月4-5日

・ しんきんコミュニケーションフェア2014 出展

イベント概要：

全国の信用金庫を対象に2年に1度開催される業界最大規模の展示会。IT企業を中心に20社以上が最新ソリューションや製品、サービス等を紹介。主催は株式会社しんきん情報サービス(SIS)

ご紹介内容：

多くの金融機関に採用いただいているESS RECとESS AdminControlを中心にご紹介。浜松信用金庫様や川口信用金庫様における製品の導入事例も、好評をいただきました。



7月15日

・ システムリスク対策セミナー 出展（FIT東京フォーラム）

イベント概要：

毎年秋に東京で開催する日本最大の金融ITフェア「FIT」（金融国際情報技術展）のセミナー部門が独立し展開している金融セミナー。対象は全ての金融機関（証券、保険、ノンバンクを含む）で、日本金融通信社(ニッキン)が主催。

ご紹介内容：

外部委託先を管理する際のポイントと効果的な管理体制を効率良く実現できるソリューションとして「ESS SmartIT Operation」を紹介。約85%の方から「セッション内容が役に立った」という評価を頂戴しました。



8月~9月

・ システム管理者のセキュリティ対策セミナー(自社開催)

イベント概要：

システム管理者や外部委託先による情報漏えい事件の多発を受けて急増するお問合せにお応えするため、3回にわたって開催。全日程で定員を大きく上回るお申込みをいただき、71社約100名が参加、盛況のうちにセミナーを終了。

ご紹介内容：

「ESS SmartIT Operation」についてソリューションを構成する各製品の機能と特長をデモンストレーションも交えながら、わかりやすくご説明しました。また、金融機関以外からも多数ご参加頂きました。



9月1日

・ 富士通エフサスとの協業を発表

リリース概要：

富士通グループの中核企業として、ICTをコアとした「トータルサービス」を提供する株式会社富士通エフサスが、当社の主力製品ESS RECの取り扱いを開始。

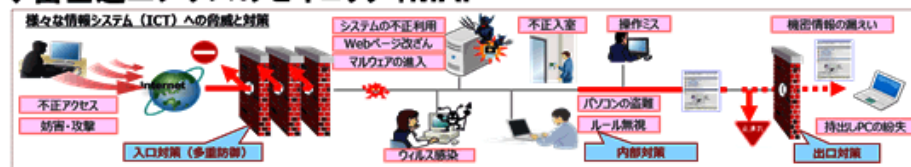
富士通エフサス社は

「FUJITSU Security Solution」においてESS RECを特権ID管理分野の管理製品として位置づけ。

システム操作内容を視覚的に再現



◆ 富士通エフサスのセキュリティMAP



可視化/計画

現状評価/ポリシー策定

入口対策		内部対策		出口対策	
不正アクセス対策	アクセスコントロール ・特権ID管理 ・ID統合管理 ・認証強化 ・入退室管理	資産管理 社員教育	ウイルス対策	データ保護	ポリシー運用
ウイルススラム対策					ウイルス対策

ログ・監査

セキュリティ監視/外部監査

目次

1.2014年3月期 決算概要

2.2015年3月期 業績予想

3.当社の成長戦略

4.参考資料

2015年3月期 業績予想

(単位：百万円)

	2014年3月期 実績	2014年3月期 上期 (実績)	2014年3月期 下期 (予想)	2015年3月期 予想	対前期比 増減率
売上高	1,172	602	724	1,325	+13.1%
売上総利益	893	448	537	985	+10.3%
販管費	481	276	291	567	+17.8%
営業利益	412	172	245	417	+1.3%
経常利益	397	172	246	418	+5.3%
売上高 経常利益率	33.9%	28.5%	33.9%	31.5%	-
当期純利益	255	118	132	250	△1.7%

- ・ 上期実績と下期予想を勘案し、2014年10月1日に通期業績予想を修正

売上構成別 下期予想

(単位：百万円)

構成項目	2015年3月期 上期 (実績)	2015年3月期 下期 (予想)	下期コメント
ライセンス	223	295	<ul style="list-style-type: none"> ・主力製品のESS RECは引き続き堅調な売上を見込む ・EACの新機能を今期中に市場投入し、情報漏えい対策案件の早期クローズを行う
ESS REC	168	209	
その他ライセンス	54	86	
保守サービス	276	299	・新規ライセンス売上による増加を見込む
コンサルティング	38	62	
常駐サービス	32	32	
その他	31	35	
売上高合計	602	724	

売上構成別 対前期比較 (通期予想)

(単位：百万円)

構成項目	モデル	2014年3月期 実績	2015年3月期 (予想)	対前期比 増減率
ライセンス	フロー型	448	517	+15.4%
保守サービス	ストック型	509	577	+13.3%
コンサルティング	フロー型	105	100	△5.3%
常駐サービス	ストック型	67	64	△4.6%
その他		40	66	+61.9%
売上高合計		1,172	1,325	+13.1%

目次

1.2014年3月期 決算概要

2.2015年3月期 業績予想

3.2015年3月期 第3/第4四半期 重点施策

4.参考資料

2015年3月期 第3/第4四半期 重点施策

新たな技術開発による競争力強化

クラウドサービス事業（SIO SaaS）の確立

ソフトウェアパッケージ事業の拡大

2015年3月期 第3/第4四半期 重点施策

新たな技術開発による競争力強化

クラウド(SIO SaaS)システムを2015年1月にリリース予定

ESS AdminControlの新機能開発
(情報漏えい事件対策として追加)

2015年3月期 第3/第4四半期 重点施策

クラウドサービス事業（SIO SaaS）の確立

「NEC Cloud IaaS」へ採用。12月よりサービス開始
(リリース済み)

クラウド事業者との提携推進

2015年3月期 第3/第4四半期 重点施策

ソフトウェアパッケージ事業の拡大

既存顧客へのSIO製品クロスセル

ESS AdminControl新機能を今期中にリリース (新規計画)

金融業界への販売強化

11月開催のFIT東京フォーラム出展など引き続き積極展開

金融業界以外への販売アプローチ

早期導入が可能な「情報漏えい対策ソリューション」を提供し、一般企業へのアプローチを進める (リリース済み)

目次

1.2014年3月期 決算概要

2.2015年3月期 業績予想

3.当社の成長戦略

4.参考資料

会社概要

セキュリティ対策および内部統制に対応したパッケージソフトソフトウェア開発・販売



エンカレッジ・テクノロジー株式会社
Encourage Technologies Co., Ltd. (証券コード：3682)

所在地： 東京都中央区日本橋浜町3-3-2 トルナーレ日本橋浜町
設立年月日： 2002年11月1日
代表者： 代表取締役社長 石井 進也
従業員数： 68名(2014年9月末日)
決算日： 3月31日
事業内容： コンピュータシステムソフトの開発・保守並びに販売
コンピュータ運用管理に関するコンサルティング
コンピュータ運用管理に関するBPOサービス

経営理念

Value & Satisfaction

お客様の視点で新たな価値を創造し、
満足いただける製品とサービスを提供します。

Happiness

社員と会社の目的を一致させ、
物心一体の幸福を追求します。

Compliance

国内外の法令と企業倫理を遵守し、
誠実かつ公平に業務を遂行します。

事業概要

企業や官公庁の情報システム（基幹業務）運用のセキュリティ対策
および内部統制強化をサポートする

1 パッケージソフトウェア製品の企画・開発

2 保守サポートサービス

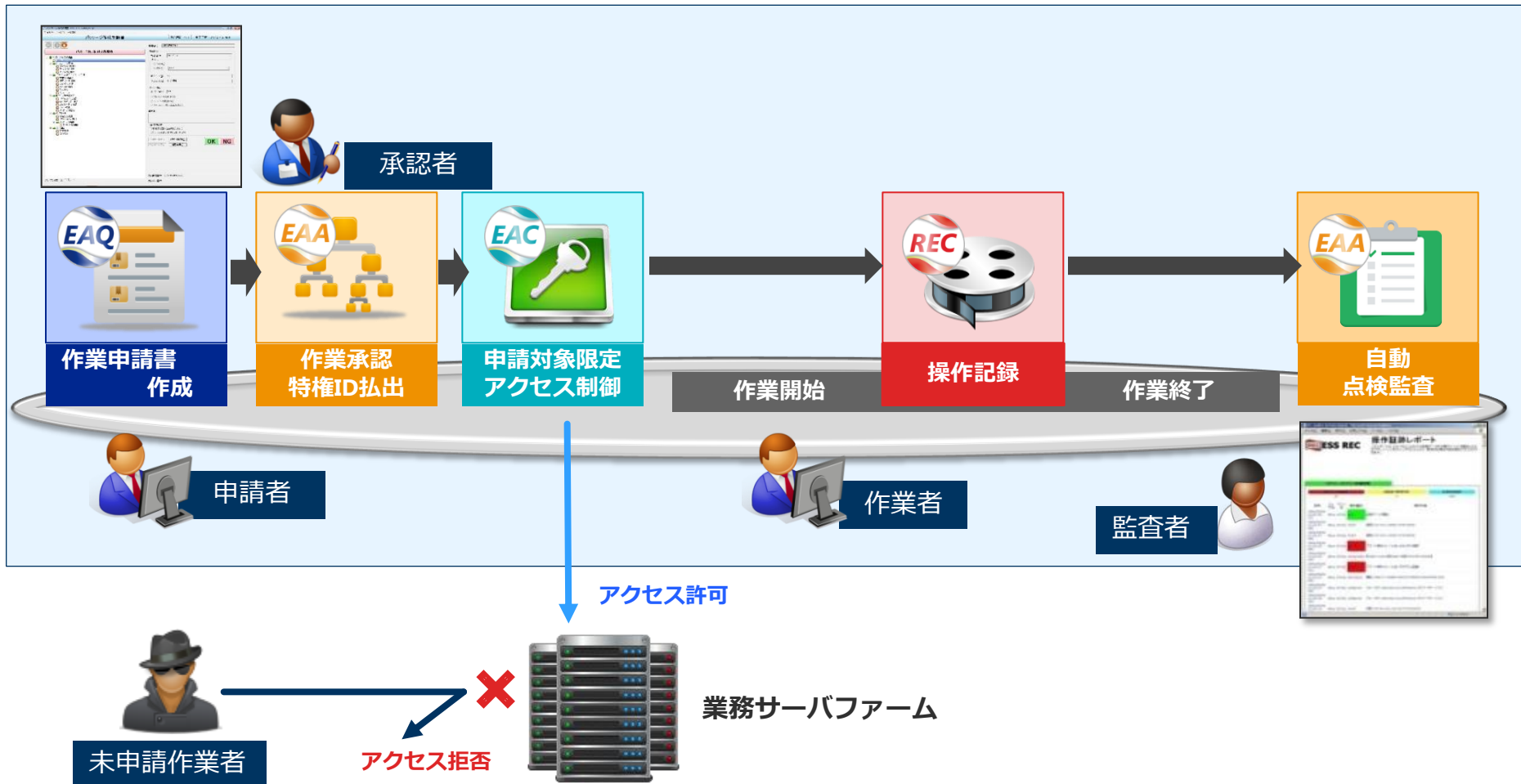
3 コンサルティングサービス

4 SIO 常駐サービス

をソリューションとして提供

ソリューション

一気通貫で連携したソリューション



REC ESS REC 主力製品について

5年連続で国内市場シェア1位を獲得



**製品選定の重要なポイントである
 圧縮技術や検索技術は特許を取得**

記録データの検索・再生の場面

将来見通しに関する注意事項

本資料に記載されている計画や見通し、戦略などは本書面の作成時点において取得可能な情報に基づく将来の業績に関する見通しであり、これらにはリスクや不確実性が内在しております。かかるリスク及び不確実性により、実際の業績等はこれらの見通しや予想とは異なる結果となる可能性があります。

当社が事業環境の説明を行う上で、参考となると考える情報を掲載しております。掲載データについては、調査方法や調査時期により結果が異なる可能性があります。

本資料に含まれる当社以外に関する情報は、公開情報等から引用したものであり、かかる情報の正確性、適切性等について当社は何らの検証も行っておらず、またこれを保証するものではありません。